

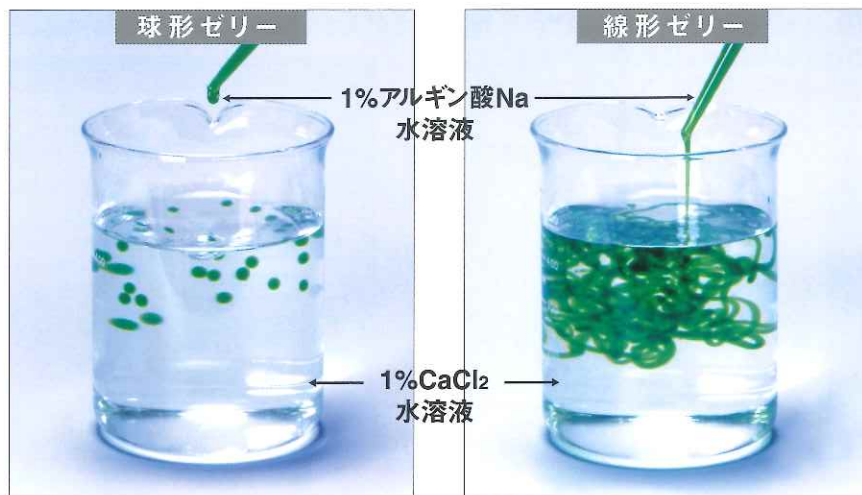
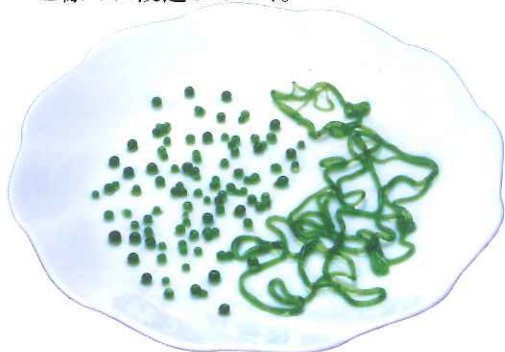
# キミカアルギン

## [アルギン酸Na]

### ゲルの形成とその性質

#### a 直接溶液法

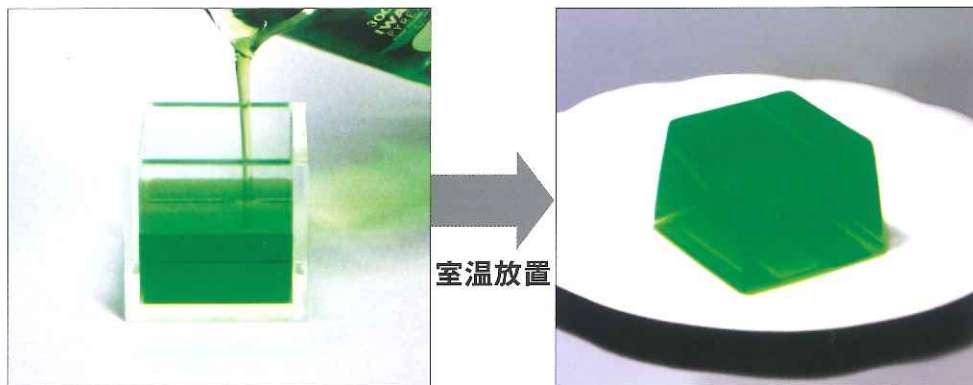
アルギン酸Naは水溶液の液滴の表面からCaイオンが速やかに反応を始め、表面から内部へと徐々に浸透していく。



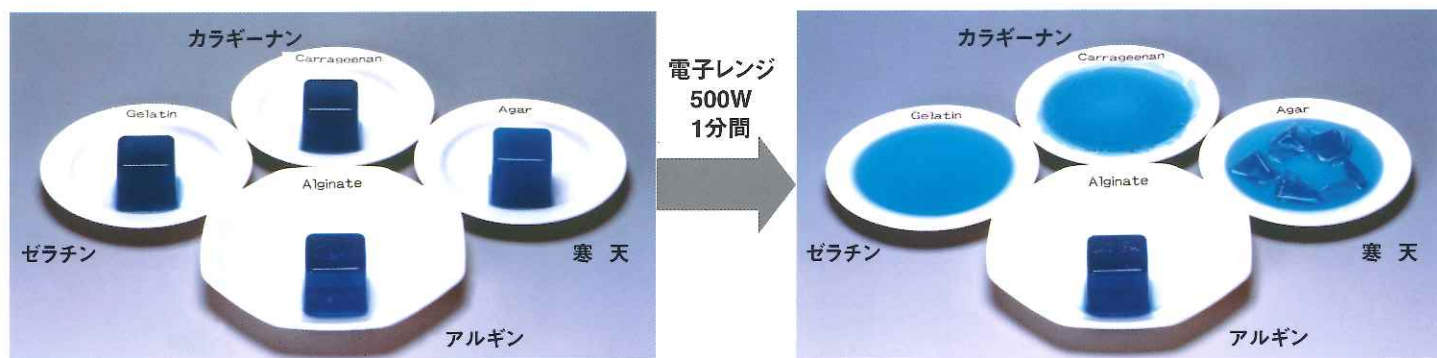
#### b イオン化コントロール法

水溶液成分

- ・アルギン酸Na
- ・難溶性Ca塩
- ・金属イオン封鎖剤
- ・イオン化促進剤など



#### c 各種ゲルの耐熱性

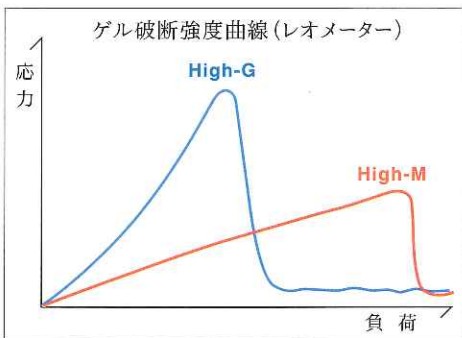


株式会社 キミカ [www.kimica.jp/](http://www.kimica.jp/)

本社 東京都中央区八重洲2-4-1 〒104-0028 Tel.03-3548-1941 Fax.03-3548-1942 E-mail:tokyo-office@kimica.jp  
 大阪営業所 大阪市淀川区西中島3-23-16 〒532-0011 Tel.06-6300-1310 Fax.06-6300-1306 E-mail:osaka-office@kimica.jp  
 千葉プラント 千葉県富津市大堀1029 〒293-0001 Tel.0439-87-1131 Fax.0439-87-3613 E-mail:chiba-plant@kimica.jp  
 KIMICA America Inc. Alginatos Chile S.A. [Alchi]

### d ゲルの強さとM/G比

アルギン酸はマンヌロン酸(M)とグルロン酸(G)の2種のウロン酸から構成される直鎖状多糖で、High-Mタイプのアルギン酸塩からは柔軟なゲルが、またHigh-Gタイプからは剛直なゲルが得られます。High-MとHigh-Gをブレンドすることにより、ゲル強度を調節することができます。



### e 加熱による離水とM/G比

	M/G比	離水率
High G	0.6	5.2%
標準品	1.3	3.8%
High M	2.2	2.0%

(90°C、30分間加熱処理後の値)



### f 水処理での用例

キミカルアルギンの水溶液を汚水、濁水に加えた後、カルシウム塩を添加することで直ちに凝集作用を起し、懸濁物を繊維状にからめとって沈殿させます。

